

# 広報 いまり

昭和29年8月19日  
第3種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部20円 昭和53年1月1日 伊万里市役所総務部企画課発行

№.287

あけましておめでとうございます

53

1  
月



# 新年賀謹



市民の皆さん、明けましておめでとうございます。

私は、昭和五十三年は不況から脱皮して伊万里市がさらに大きく発展する年であることを確信します。

なぜならば、昨年の暮れに今後の開発事業について、伊万里・北松地域と国との間に大きなパイプが通じたからです。それは、建設省・通産省・運輸省の三省にまたがる国土調査費が配分され、これからの公共事業はこの調査費のついたところが優先します。この地域は、過疎・産炭地で企業も自力では進出が容易でなく、これからは国のあと

押しがつくので大いに期待されます。

そこで、市街地づくりが重要で、国見トンネルの開通で佐世保市からはもちろん、これからの道路網整備で北松半島全体からの顧客も考えられますので、街路計画と共に駐車場、公衆便所などの都市機能を整えなければなりません。

## 今年社会づくり

## 世界一を目指そう

伊万里市長 竹内通教

農村では他市に見ない投資をここ数年行ってきた見違える姿になりましたが、今後の適地適作の営農体系と、後継者対策を中心に、制度にのるところとのらないところの均衡、それに伴うきめ細かな施策をとり、国の減反政策を当面こなす手だてをたてねばならないと思います。

予算では、農業費ののびが

最も大きいのですが、全体をみても類似市よりも二十億円ぐらい多いので、建設その他の予算も全面的にふえています。

私は、こうしたニューイマリづくりと共にオールドイマリというか、ふるさとづくりによる情緒の町づくりを推進すべく、各町に史跡保存会的

のものをづくり殊に旧伊万里町には昔の焼物の積出港跡を復元したいと思えます。

さらに、いま涸々と波紋をひろげている社会悪の拡大には、地域づくりによって守る以外には真の決めてはなく、私は昨年の「体力づくり日本一」に引きついで、今年「社会づくり世界一」を提唱します。

明るい昭和五十三年度に希望を託し、身のまわりからみちに町づくりに挺身しましょう。

ところが、伊万里市ではその誰かが始め、それが皆んなに及ぶことが「体力づくり」で経験済みである。いな、体力づくりこそが広いな、社会づくりの一環ともいえる。事実昨年の「体力づくり日本一」は社会づくりに伊万里市の値打ちがあった。

そこで社会づくりをはじめめることは伊万里市にとって左程にむづかしいことではない。

社会づくりの原点は何といても、あいさつ運動と社会的マナーの実践とルールの習得にある。

それを地域でづくりあげると、そうすればもはやそこにはいかなる社会悪も入りこむ余地がなくなってくる。また間から発生する可能性もなくなる。

もしも地域がこの努力を怠れば、もはや何ものも社会悪をとどめる手だてはなくなり野放しとなる。

お正月は、ことしはじめての月であるから折角ならば社会づくりをはじめ、それが世界にひろがってゆくきっかけを伊万里市からはじめたい。



# 伊万里・北松開発計画

## 国土庁が調査費3,374万円を配分

国土庁は、佐賀・長崎の両県にまたがる伊万里・北松地域開発整備計画に3,374万円の調査費配分を決定しました。

この調査費配分は、建設省関係2,124万円、運輸省関係720万円、通産省関係530万円で、建設省は道路交通現況調査・地域構造現況解析・土地情報基礎調査などを、運輸省は港湾貨物流動現況調査や埋立適地選定調

査を、また、通産省は工業開発規模設定調査など伊万里・北松地域の開発を進めるための調査が実施されます。

この開発構想は、伊万里市と県境を越えた長崎県松浦市・平戸市など21市町村で構成する西九州北部地域開発促進協議会(会長・竹内伊万里市長)によって検討が進められてきたもので伊万里湾を中心として、水産業の振興・臨海工業の開発・生活資源の備蓄・海洋レクリエーション基地の開発・流通港湾の整備などを柱として、交通体系・

総人口	61,158人
男	28,978人
女	32,180人
前月比	+81人
世帯数	16,020世帯

都市機能の充実・農漁村の定住のあり方など新しい開発を国に提案してきました。

この結果、国としても県境を越えた関係市町村が一体となって立案したこの広域構想が注目されていたものです。

調査は2か年で実施され、3年目の昭和54年度にはマスタープランと公共事業計画策定が行なわれることになっています。

## 広報こよみ

- 4日 官公庁仕事はじめ
- 10日 交通事故相談(生活相談課)
- 15日 成人式(市民会館)
- 〃 第13回中島杯争奪ロードレース(市民会館)
- 17日 市民ロビーで市長と会う日
- 19日 無料法律相談(生活相談課)
- 20日 大寒
- 24日 交通事故相談(生活相談課)

## 成人式は平服で参加しよう

### 1月15日 10時から 市民会館で

晴れて成人式を迎えられる皆さん、そして20年間にわたって限らない愛情で育てられたご両親おめでとうございます。

心からお祝い申し上げます。成人の日は「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます日」です。

晴れの成人式を、1月15日午前10時から市民会館大ホールで行います。

成人該当者は昭和32年4月2日から昭和33年4月1日までに生まれた方です。

毎年服装の華美が問題になります。つとめて平服で参加しましょう。

「社会づくり」のむつかしさは、誰かが始めることとしてそれが皆んなに及ぶことにある。いま地方自治体にとって社会づくりより大切なものはない。なぜならばみんな社会悪でも地方に流れこみしかも抵抗力の弱いところからそれが温床になろうとされているからである。そして、もはやそれは家庭だけでは防げない。国の機関に依存しても予防まではむづかしい。そこで、地域の一人一人が自覚し、そしてまとまった力を発揮する以外にはない。





# 市民の要望にこたえる積極補正予算

## 第4回定例市議会

第4回定例市議会は、12月9日招集し昭和52年度一般会計、簡易水道など3つの特別会計、水道事業など企業会計の補正予算をはじめ、職員の給与改定、伊万里・有田地区医師会の在宅当番医制事業への補助事業に伴う協議など21議案と報告2件、請願1件を上程、追加議案の伊万里小学校移転改築用地の財産取得などを審議、昭和51年度一般会計決算などを決算特別委員会で慎重審議するため継続審議にしたほかは可決、22日に閉会しました。

そのあらましは次のとおりです。

### 一般会計予算総額

102億4,621万円に

●昭和52年度一般会計予算に6億5,284万円を追加、予算総額は102億4,621万円になりました。

今回の補正は、国の景気対策による国・県の各種補助事業の認承増に伴う追加変更、現年発生災害復旧工事に要する経費、市道の改良補修、環境衛生処理施設の整備、小中学校校舎の維持補習に要する経費など市民の要望にこたえるため積極的な予算追加と人事院勧告に伴う一般職員の給与改定に要する経費の追加などが主なものです。

なお、今回の補正では各費目とも職員の給与改定に必要な経費を計上しており、国家公務員の給与改定に準じて4月1日から改定するもので、総額で1億5,565万円です。

以下、予算の費目ごとに主なものをお知らせします。

▶総務費には4,843万円の追加で、中規模保養基地建設準備に必要な航空写真の図面作成委託料70万円などです。

▶民生費5,180万円の追加は老人福祉センター維持補修費15万円、特別養護老人ホーム運営費負担金119万円、私立保育園の児童措置費2,337万円などが主なものです。

▶衛生費では、伊万里有田地区医師会が実施する在宅当番医制事業に対し、国・県の補助金に有田町・西有田町の町費ならびに市費を加えて補助金218万円、火葬場業務の民間委託経費82万円、山代町西分の不良環境整備の下排水路整備事業100万円、振動測定機器購入費163万円、緑化推進基金積立て126万円、ごみ処理場炉体内部の補修に236万円、不燃物を破碎・圧縮する大型機械を不燃物捨場に導入するため2,960万円、衛生処理場にし尿処理稀釈水のボーリング調査費100万円、汚泥燃焼炉改修に220万円など4,420万円を追加しました。

### 農林水産業費に

2億2,278万円を追加

▶農業費には、麦作付の条件などを整備し、作付面積の増加

を図る麦作集団育成総合対策事業費補助金4,563万円、東山代町日南郷道路整備90万円、東山代地区と波多津地区に特産物生産団地育成事業の指定を受け製茶施設が建設されましたが、県費補助が702万円の減額となったため市補助金300万円を追加波多津町の県営開拓地道路補修費の負担金131万円、農業構造改善事業の効率的な実施と合理的な開発整備に資するため、大川・波多津地区を対象に調査する農業構造改善コンサルタントの負担金60万円、農業近代化施設整備事業費の水田作施設費の変更増461万円と園芸作施設費の変更616万円の減額、大川農協会館が建設されることに伴い多目的研修集会施設が併設されるので補助金4,700万円を追加しました。

また、温州みかんの良品の生産を促進するための改植時の伐採、植栽などの経費補助金に1,551万円、団体営ほ場整備地区内の道路改修費の農家負担軽減のための補助金278万円、県営で実施される広域営農団地農道整備、老朽溜池、農免道路海岸保全事業などの負担金として2,556万円、農地開発、ほ場整備事業費認承増6,793万円、東黒川地区ほ場整備事業費の認承増707万円などを追加しました。

地入り鉱害対策では、東山代町小岩地区などで炭鉱閉山後、



放置されたままの抗道の抗口、排気抗の閉そく工事に315万円、県営の立川危険ボタ山災害防止工事促進のため、立川ボタ山の敷地および周辺土地の市有化に358万円の追加です。

林業費に、林地崩壊防止工事および農林地崩壊防止工事の認承増1,704万円を追加しました

▶土木費1億2,431万円の追加は、道路橋りょう費において辻・畑津線災害防除事業費の認承増1,770万円、既に舗装した足もと道路の損傷補修・側溝整備に500万円、急傾斜舗装費に500万円、直営舗装費300万円などのほか、過疎対策事業債および臨時市町村道整備事業債を充当して実施する市道の改良・舗装事業に2,829万円を増額、県営事業の道路改修・舗装費負担金802万円、交通安全施設整備の防護さくや反射鏡などの設置に53万円、川内線日反田橋など4か所の橋りょう架替工事費の変更による700万円を追加しました。

港湾費には、県営事業の海岸保全・港湾局部改良負担金176万円、都市計画費では県営で実施されている街路事業の伊万里駅前線ならびに八谷堀・上伊万里駅線の負担金1,142万円、松島都市下水路事業費の認承増で1,044万円を追加し、新たに4号八谷堀下水路事業に1,375万円を追加しました。

▶消防費には、道路有がい防火水そう新設工事費94万円、訓練などに必要な拡声装置購入費20万円など1,548万円の追加です。

▶教育費には、私立幼稚園の

入園児保護者の負担軽減を図るための就園奨励補助金72万円、小中学校の光熱水費不足見込み562万円と校舎補修費に440万円、大坪小学校仮設教室新設工事費750万円、大川内小学校危険校舎改築工事のうち来年度事業の一部を繰り上げ施行することで5,452万円を追加、社会教育費に松浦町中通ほか3館の部落公民館新改築補助金30万円、少年少女文庫図書購入費、大川内山鍋島藩窯跡が国の史跡指定を受けるための条件整備など26万円、保健体育費に、スポーツ

都市宣言の碑を国見台運動公園に54万円をかけて建設するほか地域住民の体力づくりの場として地元で設けられた運動広場の整備補助金20万円、浦の崎グラウンド整備に100万円、身体障害の方が勤労青少年体育センターを利用できるよう施設改善事業費150万円など、1億221万円を追加しました。

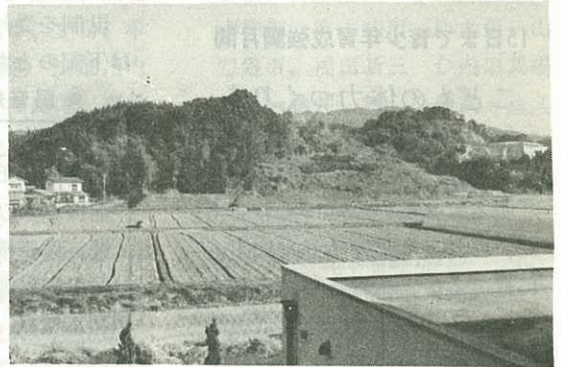
▶災害復旧費では、3,237万円を追加しましたが、農業用施設の災害復旧に3,161万円、林道災害復旧に113万円、農業用施設鉞害復旧に300万円などが主なものです。

◎昭和52年度伊万里市国民健康保険病院事業では、医療器具整備購入のため、ファイバースコープ付胃カメラ130万円、ファイバースコープ付十二指腸カメラ145万およびこれに必要な光源装置費175万円を追加しま

した。

◎伊万里小学校移転改築事業用地の取得については、現校舎の北約500メートルの丘陵地に2万8,503平方メートルの用地を4,185万円で購入取得するものです。

計画では、昭和53年度造成工事、昭和54年度から2か年で校舎を建設することにしています。



◀伊万里小学校建設予定地

### 基準点測量にご協力を 大川・松浦・上伊万里地区で実施

建設省国土地理院は、1月17日から2月28日まで「基準点測量」を行います。

現在、ほ場整備事業が大川など6地区で行われていますが、基準点測量を実施するのは6地区のうち大川・松浦・上伊万里の3か所です。

測量によって四等三角点を出し、コンクリート柱を立てて今後のほ場整備事業に伴う確定測量や地籍調査の基礎にします。

関係地区みなさんのご協力をお願いします。

▲期間 昭和53年1月17日～昭和53年2月28日

▲作業地域 大川地区 11点  
松浦地区 10点  
上伊万里地区 3点



# 騒音・振動規制法

## 1月1日から適用

住宅と工場との混在や機械設備の大型化、建設工事の増加、自動車の大衆化などで、騒音・振動の公害問題が数多く発生しています。

そこで、これを防止し市民の

**15日まで青少年育成強調月間**

**こどもの体力づくりを  
すすめよう**

明るく楽しい家庭づくりを考え、心身ともに健やかなこどもに育てることを目指して、12月15日から「冬の青少年育成強調月間運動」が展開されています

この冬休み期間中に青少年から不幸な事故者を出さないようにしたいものです。

### ▲重点目標

- ・有害環境をみんなでのぞこう
- ・非行や事故からこどもを守ろう

・こどもの体力づくりをすすめよう

※また、強調月間運動の一つとして行ったポスター、作文コンクールで優秀作品となったポスターを、1月15日まで伊万里玉屋に展示しています。

### 1月の市民講座案内

- ・日時 1月18日(水)  
18時30分～20時30分
- ・場所 市中央公民館
- ・学習内容「伊万里の歴史」
- ・講師 古賀稔康氏(市文化財保護審議会会長)

快適な生活環境を確保しようと騒音(県条例規制から法規則となる)および振動規制法が制定され、市も昭和53年1月1日から規制を受けることになりました。

規制を受ける施設と建設作業は下記のとおりで、これらの施

### ◎騒音規制法関係

施 設	建 設 作 業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・金属加工機械</li> <li>・空気圧縮機および送風機</li> <li>・破碎機、摩砕機、分級機</li> <li>・建設用資材製造機械</li> <li>・木材加工機械</li> <li>・印刷機</li> <li>・その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くい打、くい抜機</li> <li>・びよう打機</li> <li>・さく岩機</li> <li>・空気圧縮機</li> <li>以上を使用する作業およびアスファルトプラント、コンクリートプラントを設けて行う作業</li> </ul>

### ◎振動規制法関係

施 設	建 設 作 業
<ul style="list-style-type: none"> <li>・金属加工機械</li> <li>・破碎機、摩砕機</li> <li>・コンクリートブロックマシン</li> <li>・木材加工機械</li> <li>・印刷機</li> <li>・その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くい打、くい抜機</li> <li>・舗装版破碎機</li> <li>・ブレーカー</li> <li>以上を使用する作業および鋼球使用による破壊作業</li> </ul>

## 松永吉市氏が勇退



松永吉市氏

昨年12月31日付で、松永吉市氏(前市民部長)が退職しました。

松永氏は、昭和13年1月山代町役場にはいり、合併後は、財政課長・総務課長・秘書企画課長・福祉事務所長などを歴任し

設を設置したり、工事を行う場合は、事業主体者は事前に市に届出が必要です。

また、事業主は事業活動に伴い騒音や振動の公害を発生させ人の健康や生活環境に被害が生じないように努めなければなりません。

なお詳しいことは市環境衛生課(☎③-2111内線289)へおたずねください。

たあと、昭和49年5月から市民部長として、市民福祉の増進につとめるなど40年間の長い間地方自治の発展につくしました。

また11月30日付で、山口カツヨ氏(総務部二里出張所)も退職しました。

このほか次のとおり一部の人事異動を行いました。

12月1日付

- ▷総務部総務課付＝大野 基(市民部税務課課長補佐待遇市民税係長)
- ▷市民部税務課市民税係長＝前田 昭(建設部建設課係長待遇)
- ▷建設部建設課＝條島正美(市民部市民課)



## 新しい民生委員が決まりました

昭和52年12月1日付で、新しい民生委員が厚生大臣と県知事から委嘱されました。

任期は3年で、児童委員を兼務します。民生委員は、法律で社会奉仕の精神をもって保護指導にあたり社会福祉の増進につとめることになっています。

お気軽にご相談ください。

担当地区と委員氏名(敬称略)

### ●伊万里西(定数17人)

▷東新町=斉藤 勇 ▷上仲町仲町、本町1・2丁目=前田卓也 ▷本町3・4丁目、搦町、上土井町=浜田喜久子 ▷下土井町、運池町、中井樋=池田庄八 ▷浜町、今町=高柳ヒロ ▷立町元町、朝日町=末石ミスエ ▷上黒尾町、相生町、船屋町=黒木キタ ▷幸善町、陣内=菅村田鶴子 ▷栄町=長尾三郎 ▷上松島=川久保正 ▷下松島=福井 孝 ▷脇田=岡本藤太郎 ▷平山、岩立=力武 愿 ▷木須東=木須鶴次 ▷木須西=田中安吉 ▷本瀬戸、中通=川原源太 ▷早里、漁港、釘島=津上重人

### ●伊万里東(定数17人)

▷上古賀、下古賀=野中寿三郎 ▷六仙寺=船山秀雄 ▷柳井町祇園町=武富靖之 ▷白野=丸田林樹 ▷屋敷野、永山=松本一郎 ▷東円蔵寺=田代繁八、松尾勝次 ▷西円蔵寺=田中定夫、本山伸孝 ▷新天町=松尾知市 ▷渚、富士町=外尾秀馬 ▷立花台地=栗原正明 ▷岩谷小石原=山本敬次 ▷市山、市村=岩崎静馬 ▷大川内山=光

武久太 ▷正力坊、吉田=梅崎一男 ▷福野、平尾=大久保嵐

### ●黒川町(定数9人)

▷福田、浦潟、干潟=兼武武雄 ▷大黒川・奥野=大久保今朝夫 ▷塩屋=長野東守 ▷小黒川、浦分=嘉多 正 ▷椿原、黒塩=坂口三郎 ▷横野、立目、牟田、清水=崎田熊雄 ▷畑川内花房=柳本金満 ▷長尾、真手野=岸田哲雄 ▷大黒川、名村団地=古賀謙芝

### ●波多津町(定数9人)

▷木場、開拓=松下幾太郎 ▷筒井、井野尾=前田政喜 ▷田代、板木=前田虎夫 ▷中山、津留、主屋=古賀 定 ▷畑津内野=藤田平太 ▷煤屋、馬蛤潟=田中 豊 ▷辻=川上寛三 ▷浦=樋口好次、橋口熊吉

### ●南波多町(定数9人)

▷府招上=前田丈助 ▷小麦原府招下=野中武彦 ▷古川、笠椎=前田実太郎 ▷大川原=前田 正 ▷原屋敷=井手源三 ▷井手野=山口 久 ▷大曲、高瀬=藤巻哲応 ▷水留、古里=川添 一 ▷谷口、重橋=草場 昇

### ●大川町(定数12人)

▷駒鳴=野中誠一郎 ▷川西、相の谷=田中辰起 ▷戸石川=原 米市 ▷井手口=石橋友七 ▷山口=宮本岩津久 ▷長野=堀田石太 ▷東田代=瀬上 栄 ▷川原=池田 実 ▷片竹=福原 稔 ▷宿=重松次郎 ▷立川=小松茂雄、田代安雄

### ●松浦町(定数9人)

▷中通、金石原=川崎末雄 ▷

上分=中野要蔵 ▷宿分、久良木=古川忠市 ▷藤川内=大川内伊知郎 ▷村分=島田達男 ▷岳坂、梅岩=岡崎源次 ▷下分、下平=嶋田 稔 ▷下分=原口健吾 ▷東分、上原=原口福男

### ●二里町(定数11人)

▷東八谷瀬=高城勝一 ▷西八谷瀬=河原勘次 ▷川東=福田幸次郎、富永初市 ▷大里=山口亀市、福田新三 ▷内の馬場福母=藤井 覚 ▷金武=徳久寿一郎 ▷中田=前田末男 ▷作井手、古子=坂井重雄 ▷川内、吉野=大宅雪次

### ●東山代町(定数15人)

▷日尾=力武信幸 ▷長浜=吉原友悦、武藤 弘 ▷脇野=草野辰雄 ▷里=桑原健次、中島虎作 ▷福住=坂口トミエ、船津正人 ▷福和=梅崎秋芳 ▷国見=森タツ子 ▷滝川内、下分、辻の堂=川原フク ▷川内野、日南郷=幸松篤次 ▷上大久保=小宮三枝 ▷下大久保=山田良夫 ▷浦川内、東大久保天神=森 輝司

### ●山代町(定数21人)

▷福川内=橋口 繁 ▷城=黒川健一 ▷峰=林イエ子 ▷鳴石=高峰靖之 ▷楠久=水田勝平、福田濱吉、山口 孝 ▷楠久津=中村松次、西 貫之 ▷久原一区=金子光良 ▷久原二区=川久保一雄、西山トミ ▷久原三区=浦郷信一 ▷浦之崎=吉永政次、中島敬子 ▷立岩=林 与助、田代次郎 ▷川南区=川久保勝念 ▷向山=平石嘉人 ▷西分、西大久保=横尾初一 ▷東分、野々瀬=松永太市



# '77の10大ニュース

- 体づくり内閣総理大臣賞を受賞＝10月15日  
(受賞記念スポーツフェスティバル 11月6日国見台) ▶
- 伊万里・有田焼伝統工芸品産業の指定を受ける＝10月14日  
(この指定で産地浮揚の助成措置がとられます) ▼



伊万里・有田焼

伊万里焼

伝統的工芸品産業に指定

技術保存など助成

名称論争のりこえ

伊万里・有田焼 伝統的工芸品産業に指定

技術保存など助成

名称論争のりこえ



- 九州シミセ工業の工場建設急ピッチ  
(6月15日に長崎県漁連と環境保全の協定書を交しました 12月20日七ッ島工業団地) ◀
- 朝市2か所に移転＝1月15日  
(約20年間続いた朝市が駅南と船屋町に移転しました 1月10日新天町旧朝市) ▼

- 国見有料道路開通＝11月30日  
(西有田町の料金徴収所前で開通式 11月30日) ▼







● 市民病院現在地で改築へ＝9月定例議会  
(52年度から7億9,000万円をかけて3  
か年継続事業で実施 12月21日現病院)▲



● 伊万里工業団地建設中  
(山代町楠久から久原かけた地先に130億円



伊万里・北松地域略図

をかけ地域振興整備公団で建設中 12月20日) ▲  
● 中規模保養基地の調査に踏み出す ▶



● 伊万里・北松地域開発向け国の調査始まる  
▲ (国土庁から3,374万円の調査費が配分されました)

### 大川・松浦の電話がダイヤル

市外局番 09552

大川野局⑨ 松浦局⑥

大川・松浦町の電話が、8月 わせて15,600台になりました

● 大川・松浦地区の電話が自動化に  
＝8月31日 ◀

▶ 青空市 (佐賀銀行駐車場12/18)



▲ 消防訓練 (山代町浦の崎 12/1)



▲ オリエンテーリング (伊商高 11/27)



### いま伊万里で



▲ 市連青年団文化祭 (12/11)

◀ 市内一周駅伝 (浦の崎 12/4)



# ストーブは 対震式自動消火装置付を

市の火災予防条例によって液体燃料を使用する器具のうち、移動式ストーブについては自動消火装置がついたものを使用しなければなりません。

自動消火装置付石油ストーブには、地震または転倒などの場合、自動的に火をおおい燃料の供給を止めて消火する装置がついています。

石油ストーブによる火災は年

々増加の傾向にあります。いったん火災が発生すると燃えるのが早く消火が困難です。

取り扱う器具には十分注意し火災予防につとめましょう。

●現在自動消火装置がついていない移動式ストーブを使っている家庭はできるだけ早く取り替えてください。

改造費用は5,000円程度です。もよりの販売店にご相談ください。

●特に老人や幼児の家庭は危険です。早急に自動装置付のものを使うようにしましょう。

●使用中の石油ストーブで自動式に改造できる器具は次のとおりです。

- 三洋電気 OHR 24FD・26FD
- 東芝電気 OHR 20AD・21AD・26AD・20KD・22KD

## 今年の定例相談日

▶消費生活相談 毎週月曜 10時～15時

相談員 田中寿美子

▶交通事故相談 毎月第2・4火曜 10時～15時 相談員 佐賀県交通事故相談所職員

▶内職相談 毎週水曜 10時～15時

相談員 吉井次枝

▶無料法律相談 毎月第3木曜 相談員 弁護士

▶社会保険相談 毎週金曜 10時～15時 相談員

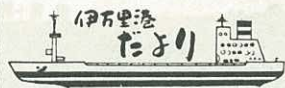
唐津社会保険事務所職員

▶高齢者職業相談 毎週月曜～金曜 8時30分～17時 相談員 伊万里公共職業安定所嘱託員

▶市政全般・陳情・苦情・その他 毎日(日・祝日を除く) 8時30分～17時(土曜は12時まで) 相談員

市役所職員

※相談場所 市役所生活相談課 (☎③2111 内線225・226)



11月

貿易額は36億7,600万円  
で10月より約95%の増。

輸出

貨物船1隻31億5,300万円。

輸入

南洋材5億1,800万円と韓国からヤオリン500万円が久しぶりに輸入された。

船舶の入港

日本船4隻、外国船7隻(パナマ5・リベリア2)の計11隻。

(唐津税関支署伊万里出張所)

## 8日に消防出初め式

消防出初式は1月8日(日)午前8時30分から11時10分まで消防本部訓練場で行われます。

市民の生命・財産を守るため日夜ご苦労いただいている団員の皆さんを激励しましょう。

## 成人の日に中島杯ロードレース

出場申し込みは10日までに

▲第13回中島杯争奪ロードレース大会(市陸上競技協会)

▲日時 1月15日(日)

- 中学の部 11時スタート
- 一般、ジュニアの部 12時スタート

▲コース〔市民会館集合出発〕

- 一般の部(市民会館～築港折返し=13キロ)
- ジュニアの部(市民会館～早里折返し=10キロ)
- 中学の部(市民会館～脇田折

返し=4キロ)

▲参加資格

- 一般の部 一般社会人、大学生
- ジュニアの部 19歳未満
- 中学の部 中学生

▲参加申し込み

- 締切り 1月10日まで
- 申し込み先 〒848-01 黒川町塩屋134 吉武正美、または市役所体育保健課へ。

(☎③2111 内線465)

○申し込みの様式は自由です。



●年金コーナー

はたち さあ20歳 国民年金の仲間入り

1月15日は成人の日です。この日は「おとなになったことを自覚しみずから生きぬこうとする青年を祝いはずまず日」として、各地で成人式が盛大に開かれます。

わが国では、厚生年金や共済組合など職場の年金に加入している方、その配偶者以外の方は

満20歳になったら必ず国民年金に加入しなければなりません。

年金のことなど遠い将来のことと考えがちですが、私たちの平均寿命は年々のびており高齢化社会へと向っています。

老後の生活設計は若いうちから自分で考え準備しておくことばかりでなく、いつおこるかわ

からない病気やケガからあなたの生活を守ります。

国民年金加入の手続きは市民課窓口で受け付けます。



老齢年金を 受けている方は 現況届を

国民年金の「老齢年金」と、「通算老齢年金」を受けている方は、来年2月15日までに現況届を出してください。

年金の支払いを引き続き受けられるかどうか確かめるためのものです。

提出期限の2月15日までに現況届を出さないと、昭和53年6月の支払分から年金が受けられないこともあります。

現在年金を受けている方には直接社会保険庁から届出用紙が送られます。忘れずに提出してください。

●現況届についてのお尋ねは市民課年金係へ。

(☎③2111 内線216)

1月の市民会館行事

- 15日(日) 10時~12時
・成人式(教育委員会)
16日~17日(月~火) 11時~17時
・不動産管理士養成大 学講座
17日(火) 13時~16時
・健康保険法改正説明会 (唐津社会保険事務所)
18日(水) 10時~12時
・中学卒業生就職希望者面 接相談会 (伊万里公共職業安定所)
21日(土) 13時30分~16時30分
・母と女教師の会 (佐教組西松浦支部)
22日(日) 13時~15時
・映画(富士映画社)
22日(日) 9時~18時
・錦城会伊万里支部総会と 温唱会
29日(日) 9時~12時
・教育講演会 (佐教連伊万里支部)

職業訓練指導員

免許資格取得講習

▲講習予定日 昭和53年1月下旬(7日間)

▲会場 武雄市

▲受講資格

免許職種に関し15年以上の実務の経験を有する方または1級技能検定に合格した方で職業訓練指導員になりたい方が対象です。

▲問い合わせ先

〒840 佐賀市城内1丁目1-59 佐賀県職業訓練課

(☎0952-23-5641)

町別飲酒運転検挙者数

(昭52:1130現在 伊万里警察署調)

Table with 4 columns: 町名, 1月~10月, 11月, 計. Rows include 伊万里, 黒川, 波多津, 南波多, 大大川, 松浦, 二里, 東山代, 山代(市外), 合計.



—郵便局だより—

●年賀状で住所録の整理を

お正月に受け取った年賀状で住所録の整理をしましょう。

差出人の郵便番号や住居表示が変更になっていたもの、住所が移転していたものなどは、新しい郵便番号や住所を控えておくくと便利です。

なお、住所録に記入する場合は、アパート名、棟番号、室番号、〇〇様方(こどもさんや同居人などの場合)など詳しく正確に記入しましょう。

成人病・妊婦健康相談

午前中は成人病相談、午後は妊婦健康相談です。

▲日時と場所

1月10日(火) 波多津公民館  
東山代出張所

17日(火) 黒川公民館  
南波多公民館

24日(火) 山代公民館  
松浦公民館

▲成人病相談は血圧測定、尿検査、高血圧の予防など。

▲時間 10時～11時30分

▲妊婦健康相談は妊婦、分娩、産褥期の保健衛生など。

▲時間 13時～14時30分

●母子手帳をご持参ください。

子宮ガン集団検診

1月13日(金) 柳井町公民館  
(大坪小学校区)

▲対象者 30歳以上の方(妊婦を除きます)

▲料金 250円

▲受付時間 13時～13時30分

市民のページ

●書き損じた郵便はがきなど新しいものと交換できます

書き損じたり、汚したり、誤って印刷したりした郵便はがきや郵便書簡などは次のとおり新しいものと交換できます。

ただし、郵便切手にあたる部分を汚したり、傷つけたりしたものは交換できません。

書き損じたはがき等の交換手数料	
通常はがき	1枚につき3円
往復はがき	〃 6円
郵便書簡	〃 6円
外国郵便用はがき	〃 5円

風邪をひかないための食事

タンパク質が不足すると、身体の抵抗力は弱ります。

そのうえ、寒さのストレスは体内のタンパク質を大量に分解します。

これを補うためにも、日ごろ肉、さかな、豆腐といった良質のタンパク質を十分にとっておくことが大切です。

また、風邪をひかないようにするには、ビタミンCが必要で、新鮮な野菜サラダ、おろし大根、さつまいもなどの一品をつけ、食後にはミカンを一つ必ず食べるようにして、ビタミンCの補給を心掛けましょう。

そのほか、ビタミンAは粘膜を強めて、鼻やのどからウイルスが侵入するのを防ぎます。油で料理した青野菜やにんじん、レバー、バターを多くとるよう心がけましょう。

ダイヤル

●年末年始の営業窓口取扱いは12月29日～1月3日まで休業いたします。

●無料テレホンサービスをどうぞ。☎②7171番です。

電話を気持よくご利用いただくためダイヤルマナーやお知らせなどをトーカー案内しています。

●迷惑ですね まちがい電話  
まちがい電話ほど相手に不愉快なおもいをさせることはありません。まちがえたら「すみません」の一言を。かける前にはもう一度番号を確かめましょう。

無料人権相談所を開設

法務局伊万里支局・伊万里人権擁護委員協議会は、次のとおり「無料特設人権相談所」を開きます。

人権・相続・家庭・借地借家・不動産・その他の問題でお悩みの方は気軽に相談ください。

▶日時 1月23日(月)

10時から15時まで

▶場所 山代公民館

▶相談担当

・人権擁護委員 水上房代氏

・法務局伊万里支局職員





### 毎月5日は税の相談日

伊万里税務署は毎月5日を「税の相談日」としてみなさんからの相談に応じています。税についての相談ならなんでも結構です。気軽にご利用ください。相談は無料です。

次の方からご寄付いただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

#### 社会福祉事業費へ

- ◆ 香典返しを寄付
  - 。鶴田俊郎(波多津町煤屋)
  - 。池田政則(大坪町下古賀)
  - 。池田フヂ
  - 。平山ハツセ(大川町駒鳴)
  - 。栗原哲雄(波多津町浦)
  - 。武田隼人(大川内町市村)
  - 。前田義次(東山代町大久保)
  - 。石井一夫(伊万里町下土井町)
  - 。下平勝三(伊万里町今町)
  - 。亡母キミ)

- 。久保田 隼(松浦町山形)
- 。溝江英一(松浦町岳坂)
- 。山口房子(立花町西円蔵)
- 。寺 亡夫長一)
- 。吉田寛兵衛(波多津町浦)
- 。吉田ハツ)
- 。平野カメ(山代町浦の崎)
- 。亡夫元市)
- 。大宅重夫(二里町川内)
- 。原口寅雄(松浦町桃川)
- 。田中敬太郎(波多津町浦)
- 。副島雷太(松浦町提川)
- 。杉山 卓(黒川町花房)
- 。池田 実(南波多町原屋)
- 。東島 勇(伊万里町松島)
- 。塚本シノ(波多津町浦)
- 。藤森平作(波多津町内野)
- 。篤志寄付
- 。四千元 牧野敏昭(伊万里警察署経由)
- 。老万円 才木喜好(埼玉)

。式千円 田中善一郎・栄子(佐賀県高木瀬町城北団地)

。八万五千式百六拾七円

。西日本相互銀行女子行員一同(市福祉会館建設基金の一部として)

。五万円 読売新聞西部本社・FBS福岡放送(移動動物園の収益金の一部を)

(累計四四二万〇〇八七円)

ありがとう



ご支援しました

#### 教育振興奨励基金へ

- ◆ 香典返しを寄付
  - 。下平勝三(伊万里町今町)
  - 。亡母キミ)
  - 。田中マツ(波多津町煤屋)
  - 。亡夫国夫 波多津小・波多津東小指定)
  - 。小林三津夫(南波多町大曲)
  - 。亡父喜代助 波多川小指定)

#### 波多津公民館 施設整備資金へ

- ◆ 香典返しを寄付
  - 。栗原哲雄(波多津町浦)
  - 。藤森平作(波多津町内野)
  - 。亡妻キヨ)
  - 。篤志寄付

#### 交通遺児救済資金へ

- 。老万円 才木喜好(埼玉)
- 。里小視聴覚教育発展のため)
- (累計一八五万六〇八一円)

- 。塚本シノ(波多津町浦)
- 。亡妻キヨ)
- 。田中敬太郎(波多津町浦)
- 。亡父喜代助

(昭52・12・15現在)

- ◆ 篤志寄付
  - 。老万円 伊万里町仏教会代表伊万里良照
  - 。老万五千八百式拾円 伊万里たばこ組合婦人部(婦人部活動の益金を)

#### 体育振興奨励基金へ

- ◆ 篤志寄付
  - 。老万円 中島紘一(新天町六五四)
  - 。市内各小学校へ
  - 。野球用バットケース三十三个 條島一郎(黒川町奥野)

#### 消防署へ

- ◆ 香典返しを寄付
  - 。久保田 隼(松浦町山形)
  - 。大坪地区公民館建設資金へ
  - ◆ 香典返しを寄付
    - 。池田政則(大坪町下古賀)
    - 。亡母フヂ)

#### 山代町コミュニティセンターへ

- ◆ 香典返しを寄付
  - 。大曲恒雄(東京都福生市)
  - 。亡長男慎一郎)
  - ◆ 篤志寄付
    - 。幻燈機一台 匿名(山代町久原)

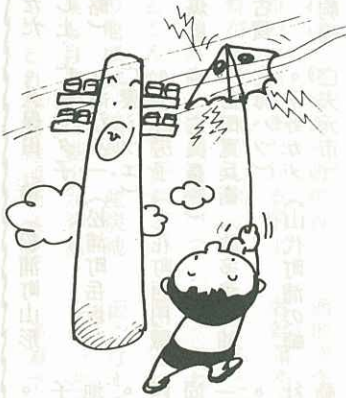
- 。亡夫徳雄)
- 。吉田寛兵衛(波多津町浦)
- 。亡母ハツ)
- 。南波多公民館へ
- ◆ 香典返しを寄付
  - 。野中淳一郎(南波多町小麦原)
  - 。山崎正人(南波多町原屋)
  - 。亡母ハマ)
  - 。二里公民館
  - 。町づくり推進資金へ
  - ◆ 香典返しを寄付
    - 。吉永九州男(二里町川内)
    - 。亡祖父権次)
    - 。東山代公民館建設資金へ
    - ◆ 香典返しを寄付
      - 。前田義次(東山代町大久保)
      - 。亡父光義)
      - ◆ 篤志寄付
        - 。参万円 山口勝代(東山代町長浜 市職員退職記念)
        - 。拾万円 荒木ツヤ(東山代町里 長男博之の結婚記念)



# こどものページ

## タコあげは

### 電線のないところで



タコあげのシーズンです。

お父さん、お母さんへお願い、

電線の近くではタコを絶対に

あげないように

お子さんにご注意  
いください。

九州電力では  
51年度に全九州

で電線にひっかかった約5,200  
個ものタコを取り除きました。

◎タコをとろうとして電柱の  
ぼるのはやめましょう。

◎タコをとろうとして糸をひっ  
ぱったり電線を竹ざおなどで  
つつくのは大変きけんです。

◎九電伊万里営業所 (32194)

私は小学校六年の時、父の  
仕事の関係で大阪からこの伊  
万里に移ってきました。  
伊万里という町は、歴史の  
古い町で大阪とはまた違った  
雰囲気があるのではないかと  
期待してこの町へやってきま  
した。

そして、こちらにきてほん  
とうにいいなあと感じたのは  
自然の豊さです。  
大阪では緑が少なく、見渡  
す限り高いビルや住宅ばかり  
で、緑といえるのは公園の中  
ぐらゐなものです。こちらで  
は、回りはみんな緑です。そ  
の緑の中に家があるのです。

四季というのを目や耳で感じ  
るところができるのです。そ  
れにここでは公害なんでも  
たことがありません。私は、  
あまゝ体が丈夫なほうではな  
かったのですが、よく学校を休ん  
でいました。こちらに来て  
恵まれた環境のもとに生活す  
るようになって、大分丈夫に  
なりました。

しかし、こんな恵まれた環  
境の「よさ」だけではなくも  
つとよい「宝」を伊万里はも  
つています。私がバスに乗っ  
ていた時のことです。おばさ  
んが「バス代」がなかなか見  
つからず立往生していました。  
それを乗客も運転手さんも  
何の文句も言わないで待つて  
いるのです。中には「お金を  
貸そうか」と言う人まで現れ  
てきました。私は正直いつて  
そんなおばさんを見ていら  
らしました。自分の降りると  
ころを知っているのなら、ち  
やんと前から用意しておけば  
よかつたのに、と思いました。  
そうこうしているうちに  
金がやつとでてきておばさん  
は「ありがとうございました  
待たせてすみませんでした」と  
言つて降りていきました。



私の見た  
郷土伊万里  
黒川中学校3年  
波多千恵美

私は、いままでいらいらし  
ていたことも忘れ、暖かさも  
が胸の中に広がるのを感じ  
ていました。乗客のみんなもやさ  
しい顔でおばさんの降りるの  
を見ていました。  
私は「これが伊万里だ」と  
思いました。伊万里の大きな  
よさを見つけたうれしさで、  
何か自分がよいことをした時  
のような感動を味わいました。  
でもこれは特別な例ではな  
かつたのです。その後、気を

私には、人間という一つの  
個性は存在できないのです。  
だから、この伊万里だけは今  
の気持ちを絶対に忘れずに発  
展してほしいのです。  
今では、はじめついでにいけ  
なかつた言葉にもだんだん慣  
れてきて、いらいらしたり、  
ばかばかしいと思つていたり  
ともほほえましく感じ「あり  
がとうございました」の言葉  
も言えるようになりました。  
よく友達から「大阪とこつ  
ちとどちががいい」とたずね  
られます。今なら私は迷わず  
「伊万里がいい」と答えるで  
しよう。

この伊万里を私の郷里にし  
て、強く、大きく、たくまし  
く、成長していきたいと思  
います。  
◇ ◇  
この作品は昨年十一月に開  
かれた第十一回子ども話し方  
大会中学生の部で最優秀賞と  
なつた作品です。